

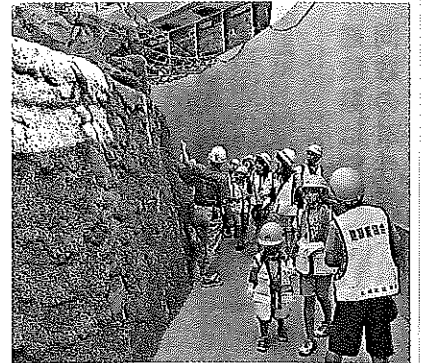
札幌建青会が親子現場見学会開く

珍しい光景に感激しきり

円山動物園サル山改修など公開

札幌建青会(山田健一郎会長)は七日、札幌市発注の円山動物園サル山改修の現場で「夏休み親子で現場見学会」を開催した。円山動物園内で施工中の屋外放飼場などを、夏休みの小学生と保護者約五十人が見学。動物たちのエサを保存している冷蔵・冷凍室や改修中のサル山など、普段見ることができない光景に、子どもたちは歓声を上げて楽しんだ。

札幌建青会は、一般社団法人札幌建設業協会を中心とした建設企業の青年経営層で構成。同取組は、社会資本整備が地域住民の暮らしにとって重要な役割を担っていることを啓発するため、毎年開催している。



建協と二世会組織が一体となって取り組もうと、前年度から札幌建設業協会と共

催で実施。今回は見学場所が動物園ということもあり、未就学児や小学校低学年の子ともたちとその保護者が多く集まった。

はじめに、動物園の職員が、園内を見学しながら各施設の役割を解説したあと、サル山の施工現場に移動。施工を担当している(株)藤井工務店の山田修一現場

夫していることなどを紹介した。

このあと、参加者たちは実際にサル山の施設内に入り、サル山を囲む堀を一周し写真。直接堀にふれたり、記念撮影をしたりと、普段立ち入ることのできない場所を興味深そうに観察していた。

山田会長は「こうした建設業の仕事が大人になっても覚えていてもらえたら」と話している。

事務所長が事業概要や工事内容を説明した。擬木や網で遊具を設置したり、レストハウス側に岩盤浴を設置したりすること、サルたちにとって快適な空間になるよう工

札幌建設青年会

サル山の現場に歓声

円山動物園で親子見学会

札幌建設業協会の二世会組織・札幌建設青年会(山田健一郎会長)は7日、夏休み親子現場見学会を開き、札幌市都市局発注の円山動物園サル山改修(藤井工務店施工)の現場を見学した。サルより先に施設に入った子どもたちは興奮して歓声を上げたり、写真を撮ったりしていた。



オープン前のサル山に入り興味津々の子どもたち

札幌建設業協会は二世会組織・札幌建設青年会(山田健一郎会長)は7日、夏休み親子現場見学会を開き、札幌市都市局発注の円山動物園サル山改修(藤井工務店施工)の現場を見学した。サルより先に施設に入った子どもたちは興奮して歓声を上げたり、写真を撮ったりしていた。

会と札幌建設業協会も共催し、今回は53人が参加した。この現場は老朽化したサル山をリニューアルするもので、施設の大部分を占めていた岩山を撤去。緩やかな段差を付けて芝生化し、擬岩や擬木を配置した。工事はほぼ完了。オープンは今秋を予定し、それまで約80頭のサルは熱帯動物館に仮住まいしている。

参加者は、はじめに飼料が保管されている冷蔵・冷凍室で動物園担当者から

説明を受け、雪氷エネルギーなどの環境対策に取り組んでいる施設も見学。続いて施工中のサル山に移動した。

子どもたちは本来の「住人たち」より早く施設に入り、本物そっくりの擬木や人間にとつて上り下りしにくい階段などを興味深く見詰めていた。

山田会長は「こうした作業も建設業の仕事だと、大人になっても覚えてほしい」と期待していた。